

## < 講義 > コロナ禍における避難所開設運営のポイント ゾーニング、レイアウト、誘導など

### < 講師 > 浦野 愛

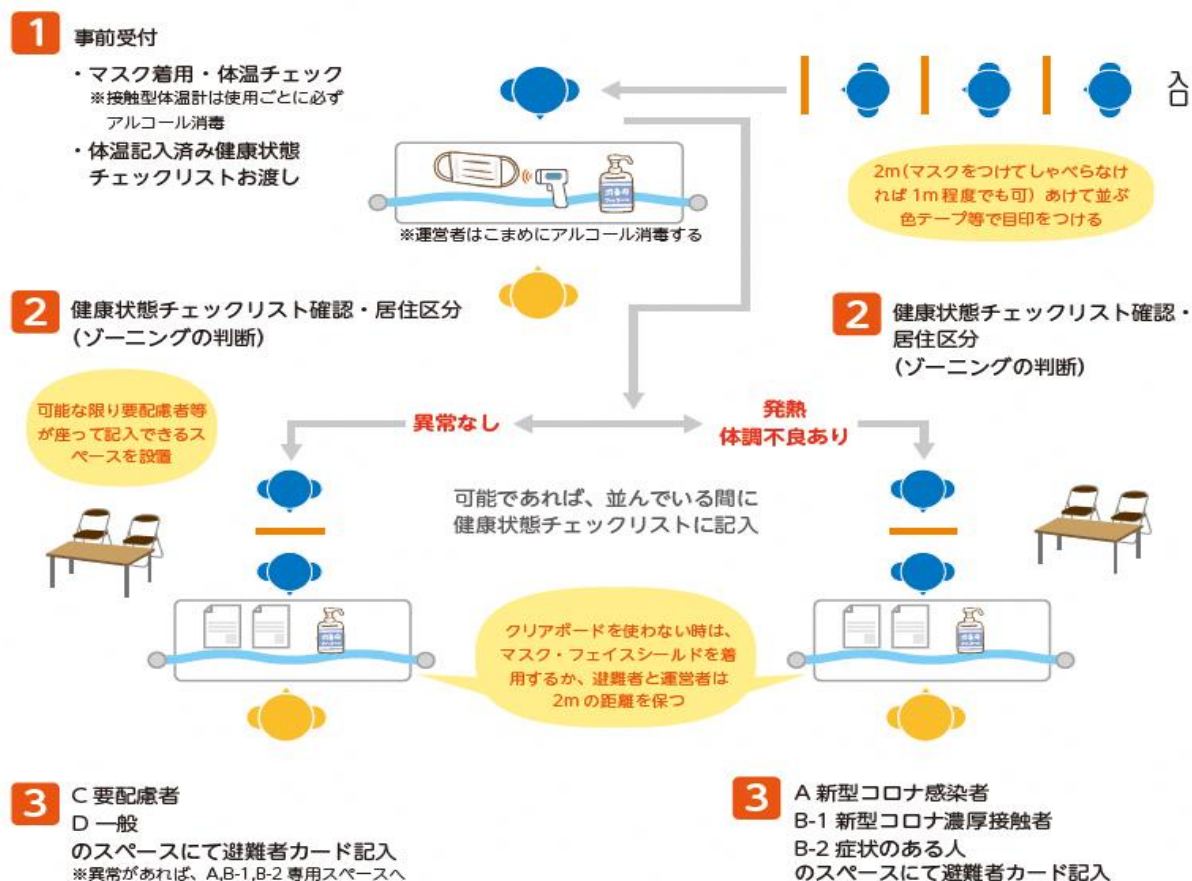
(NPO法人レスキューストックヤード常務理事)



災害現場から見た避難所の運営状況と、個別空間の確保や消毒、換気の徹底などの感染拡大を防ぐための重要ポイントについてご説明いただいた。

### 【感染拡大を防ぐための重要ポイント①】

#### 受付で症状のある人となない人を分ける



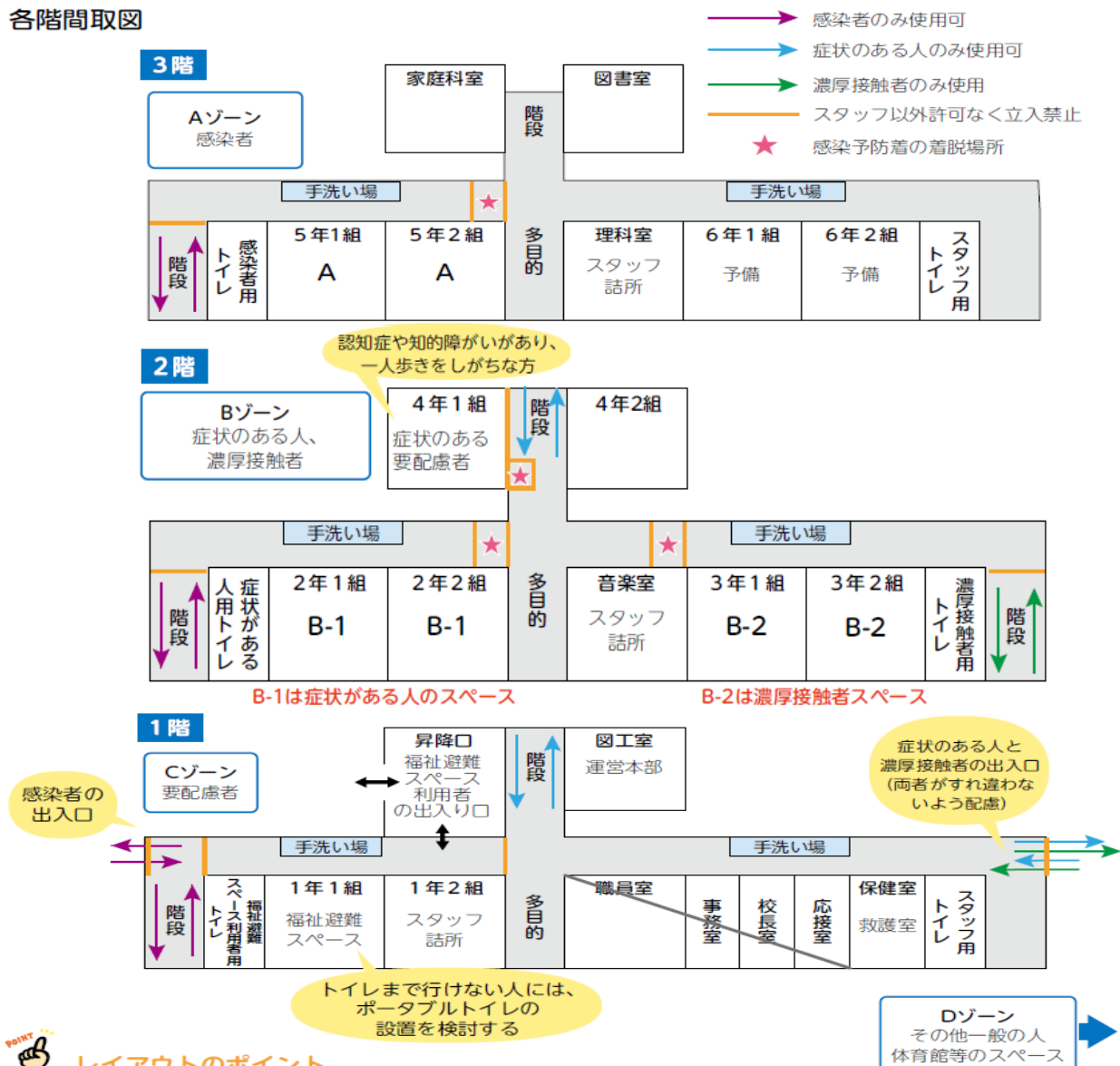
## 【感染拡大を防ぐための重要ポイント②】

**症状のある人とない人が、廊下・トイレ・手洗い場  
などで交わらないレイアウトを行う**

### ゾーニングレイアウト（例）

Aゾーンの対象者は、医療機関等への移送が大原則です。下記の図は、あくまでも大規模災害時のやむを得ない場合のゾーン分けの参考例です。

#### 各階間取図



#### レイアウトのポイント

- ▶ ABCDゾーンの人が使う部屋、トイレ・手洗い場は分け、お互いが交わらない動線をつくる。
- ▶ 可能であればゾーンごとに、スタッフルームを設置する。
- ▶ ABの対応をする人に対しては、行政職員や医療、看護、保健、福祉の専門職などが優先的に対応する。
- ※避難施設の敷地内に複数の建物がある場合は、ABCDゾーン当該者をそれぞれ別棟で居住区分するのが望ましいでしょう。
- ※ゾーニングはできる限り、救護所の医療従事者や市町村の保健センター、保健福祉部局、または保健所などに相談しながら進めましょう。
- ※また、ゾーニングの方法については、できるだけ災害発生前に、行政、施設管理者、住民自治会等で話し合いをしておきましょう。

## <事前受付についての模擬演習>

避難所開設・運営での要となる受付場面での感染予防策や注意点について理解を深めるため、参加者に事前受付から本受付の手続き、案内先の振り分けまでの一連の流れを体験していただく模擬演習を実施した。

### 1. 手指消毒、検温

→発熱・体調不良者を区分



### 2. 問診票の記入



### 3. 事前受付

→問診票の提出、確認



### 4. 本受付

→避難者名簿の作成

